



総合博物館・卒論ポスター発表会開催（お知らせ）

下記のとおりお知らせしますので、[参加募集の報道・当日取材等](#)をお願い申し上げます。

開催概要：

「ミュージアムマイスター認定コース」の社会体験型科目の一環として、「卒論ポスター発表会」を開催します。

北海道大学の現役4年生10名が自らの研究内容をポスター（A0サイズ）1枚に表現し、わかりやすく来館者向けに発表します。この発表会では、文系、理系の分野を超えて「研究の内容」や「コミュニケーション力」「デザイン性」を競います。発表会では、学生に対する賞として審査員による「最優秀賞」などの他、一般の方からの投票による「来館者賞」を設けています。

当日は学生が運営するカフェを併設し、会場でお茶を飲みながら学生の発表を聞くことができます。なお、このイベントの運営も社会体験型科目の「卒論ポスター発表会の運営」を受講している学生たちにより行われます。



昨年度の卒論ポスター発表会の様子

発表者・ポスタータイトル：

1. 高野詩織（文学部 人文科学科）『ギュスターヴ・クールベの狩猟画に関する考察 —鹿のモチーフと森の風景を中心に—』
2. 広瀬 拓（農学部 農業経済学科）『食料自給率は政府目標の指標として適切か？—食料自給率変動の要因分析—』
3. 山本大貴（理学部 地球科学科）『原始惑星系円盤におけるアモルファスフォーステライト粒子表面での含水鉱物形成』
4. 松澤 亮（工学部 環境社会工学科）『「オランダ建築年鑑」（2000-01 年版以降）の特徴』
5. 木野瑞萌（理学部 生物科学科）『ツシマヤマネコとイリオモテヤマネコにおける MHC 遺伝子の多様性』
6. 萩野由香（農学部 応用生命科学科）『ホウ酸輸送体 BOR1 のエンドサイトーシスによる分解制御メカニズム』

カニズムの解明 —シロイヌナズナはどのようにホウ酸過剰を防ぐのか?—』

7. 三嶋 渉（理学部 地球科学科）『地球の磁場ってどうやってできているの?』
8. 豊田あかり（理学部 生物科学科）『古代 DNA 分析による絶滅種ニホンアシカの分子系統』
9. 関根政人（工学部 環境社会工学科）『北海道の建築 1863-1974』掲載作品にみる戦後北海道建築の特徴
10. 久保田彩（理学部 地球科学科）『蝦夷層群最下部のコハク濃集を伴うイベント堆積物 —堆積環境と陸生微小生物群—』

日程：平成26年3月1日（土）10：00～16：00

2日（日）10：00～16：00（投票は15：00まで）

※2日は10：00から発表者が各自5分でポスターの魅力を紹介する
プレゼンタイムがあります。

その後、15：30から表彰式を行います。

場所：北海道大学総合博物館 1階「知の交流」コーナー ※JR札幌駅北口より徒歩10分

入場：無料

申込：不要

主催：北海道大学総合博物館

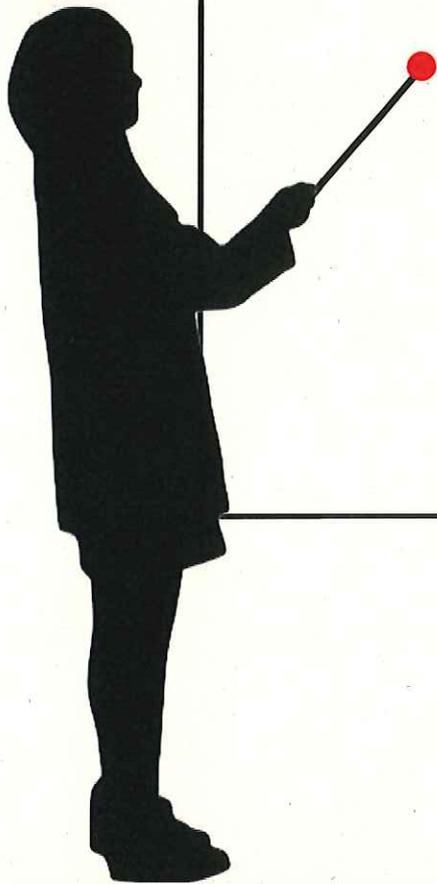
注意事項：本学では、構内への車両乗り入れを規制しています。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願いします。

参考 URL：<http://www.museum.hokudai.ac.jp/highereducation/storytopic/54/>

お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課 博物館担当

TEL：011-706-2658 FAX：011-706-4029 E-mail：museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp



北 大 生

お答えしましょう

「これはね」と
訊いてください
「これなに?」と

卒論ポスター発表会

日 時 2014年3月1日(土)・2日(日)10時~16時

場 所 北海道大学総合博物館 1階 知の交流

問合せ 〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学総合博物館 2階

ミュージアムマイスター事務局

011-706-4704

<http://www.museum.hokudai.ac.jp>

申込不要・入場無料